

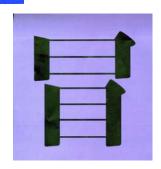
町田市立国際版画美術館 開館25周年記念















エドヴァルド・ムンク(1863-1944) 「マドンナ」 1895/1902 年 多色刷りリトグラフ 大原美術館蔵

版画の冒険ミレー、ドガそしてムンクへ展

Peintre-graveur: Adventures in Graphic Arts in 19th Century

2012年4月14日(土)~6月17日(日)

展覧会広報用に、本プレスリリース掲載の画像を用意しております。 ご利用いただける際は、最後に記載した問い合わせ先までご連絡下さい。

時代遅れの技術となって消えるのか



美術表現として生き残れるのか

19世紀、版画は未来を賭けた冒険にのりだす!

町田市立国際版画美術館 開館 25 周年記念

「版画の冒険 ミレー、ドガそしてムンクへ」展

Peintre-graveur: Adventures in Graphic Arts in 19th Century

社会構造が大きく変化した 19 世紀後半のヨーロッパ。写真の登場や印刷技術の飛躍的な発展などのために、版画は大きな岐路に立たされました。時代遅れの技術として消えていくのか、美術表現の一つとして自立するのか。版画の生き残りをかけたさまざまな挑戦が開始されます。そこで大きな役割を果たしたのが、自由な発想で版画を制作したミレーやピサロ、ドガやルドンなどの画家たちでした。そして、彼ら「画家にして版画家 peintre-graveur」の仕事によって、版画は美術表現としての道が切り開かれ、新しい時代に適応していくことになります。

本展覧会は、版画が生まれ変わるこの過程を3部構成によって紹介します。出品作品は国内とフランスの機関が所蔵する優れた版画と、関連する油彩や水彩等をあわせた約200点。画家たちの個性的な試みを追いながら、彼らが版画のどこに存在理由を見出していったのかを考え、同時に版画の魅力を発見していただければと思います。

25 周年を迎えた町田市立国際版画美術館がおくる、ユニークな内容の展覧会です。ぜひご覧下さい。



エドガー・ドガ(1834-1917) 「ルーヴル美術館考古展示室に て、メアリー・カサット」 1879-80 エッチングほか 横浜美術館蔵

第1部. 広めるための版画

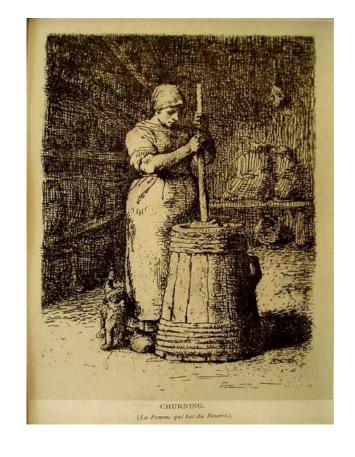


1. 19世紀の複製版画―ミレーを中心に

版画の本来の機能である「画像の複数化」という点に注目し、イメージを広める手段として版画を制作した画家たちの作品を紹介します。



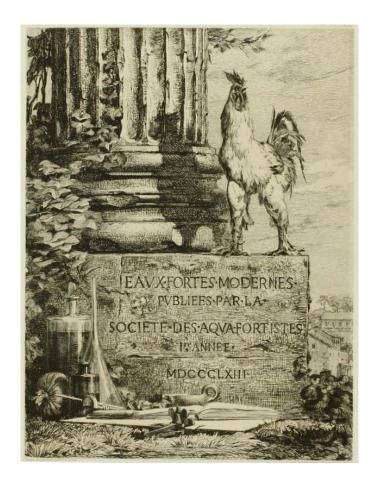
ジャン=フランソワ・ミレー(1814-1875) 「バター作りの女」 1870 年 油彩 吉野石膏株式会社蔵



ジャン=フランソワ・ミレー(1814-1875) 「バター作りの女」 1855 年 エッチング 横浜美術館蔵

2. すぐれた芸術をすべての人に一腐蝕銅版画家協会の活動





ジュール・ジャクマール (1837-1880) 「エッチングのめざめ」 1863 年刊 エッチング 町田市立国際版画美術館蔵

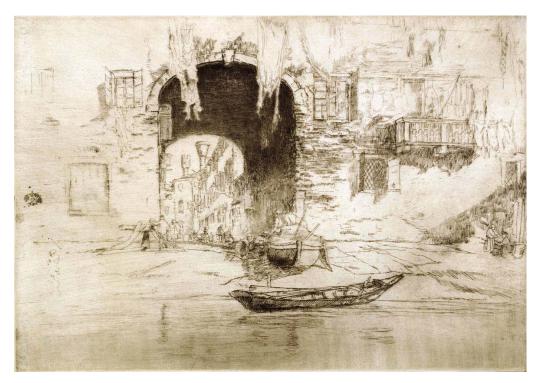


ウジェーヌ・ドラクロワ(1798-1863) 「オランのアラブ人」 1865 年刊 エッチング 町田市立国際版画美術館蔵

Ⅱ 芸術的な刷りへの挑戦



同じ仕上がりの版画を何枚も制作することよりも、一枚に最高の仕上がりを求めて版画の刷りに細心の注意を払ったホイッスラーやビュオなどの作品を展示します。



ジェームズ·ホイッスラー(1834-1903) 「サン・ビアジオ」 1879-80 年 エッチング 兵庫県立美術館蔵



フェリックス·ビュオ(1847-1898) 「ウェストミンスター宮殿」 1884年 エッチング、ドライポイント 町田市立国際版画美術館蔵

Ⅲ 画家たちの実験



常識にしばられない自由な発想で制作された画家たちの版画を展示します。

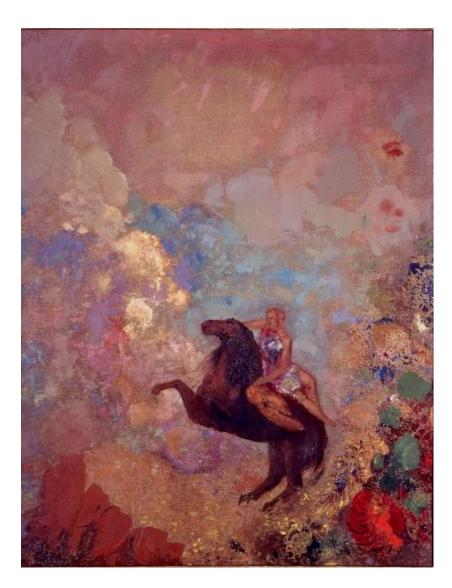


エドガー・ドガ(1834-1917) 「舞台裏の踊り子」 1879-80 年 エッチング、アクアチント、ドライポイント 横浜美術館蔵



カミーユ・ピサロ(1830-1903) 「雨の印象」 1879 年 エッチング、アクアチント 町田市立国際版画美術館蔵





オディロン・ルドン(1840-1916) 「ペガサスにのるミューズ」 1904-1910 年 油彩 群馬県立近代美術館蔵



ポール・ゴーギャン(1848-1903) 「マナオ・トゥパパウ」 1893-94 年 木版、ステンシル 町田市立国際版画美術館蔵



「版画の冒険 ミレー、ドガそしてムンクへ」展

Peintre-graveur: Adventures in Graphic Arts in 19th Century

会期: 2012年4月14日(土) ~ 6月17日(日)

月曜休館、ただし4/30(祝)開館、5/1(火)休館

平日 10:00~17:00 (入館は 16:30 まで) 土・日・祝日 10:00~17:30 (入館は 17:00 まで)

観覧料: 一般 1,000(800)円/ 大高生 500(400)円/ 65歳以上 500(400)円 /中学生以下は無料

()内は20名以上の団体料金

- ・展覧会初日 4/14 (土)、開館記念日 4/19 (木) は入場無料
- ・身体障がい者手帳または愛の手帳等をお持ちの方と付き添いの方 1 名は半額

後援/フランス大使館

特別協力/フランス国立美術史研究所 フランス国立図書館 協力/アンドレ・シュニュ 小田急電鉄株式会社 カトーレック株式会社 日本航空

【関連イベント】

- ◇講演会〔手話通訳付〕
 - ①太田治子氏(作家) 5月5日(土・祝) 「版画のなかの人生」
 - ②田島直樹氏(筑波大学准教授) 5月27日(日) 「19世紀の銅版画にみる刷りの効果について」
 - いずれの講演会も、午後1時30分-3時
 - *聴講無料、ただし企画展観覧の方が対象です。

◇アート・キューブでわくわく美術探検!

4月29日(日)、30日(月・祝) いずれも午後1時30分-3時

福島で開発された美術鑑賞サポート・ツール「アート・キューブ」を使った子ども向けワークショップ。ゲーム感覚で楽しく展示室を見て回ります。事前申込制です。詳細は美術館公式サイトで後日お知らせします。

講師:永山多貴子(郡山市立美術館学芸員)、橋本淳也氏(福島県立美術館学芸員)、

真柴毅氏(福島県立高校教員)

◇プロムナード・コンサート

6月2日(土)演奏:石平彩香(ピアノ) + 小形響(バイオリン)

6月9日(土)演奏:石平彩香(ピアノ)

場所:美術館エントランスホール

各日とも午後1時と3時の2回、約30分程度の演奏。どなたでもお聴きになれます。

◇学芸員によるスライドレクチャー 5月6日(日)、13日(日)、20日(日)

午後2時より1時間程度 場所:美術館講堂 *聴講無料

◇館長によるスペシャル・ギャラリートーク

5月19日(土)午後2時より1時間程度 *観覧券が必要です。

◇学芸員によるギャラリートーク

4月22日(日)、6月10日(日)

午後2時より1時間程度 *観覧券が必要です。

問い合わせ 町田市立国際版画美術館 本展広報担当学芸員 滝沢恭司

〒194-0013 東京都町田市原町田 4-28-1

小田急線・JR 横浜線町田駅から徒歩 15 分

Tel. 042-726-2771/0860 Fax.042-726-2840

bunspo040@city.machida.tokyo.jp

http://hanga-museum.jp/

◎同時開催

「家族の肖像」 4月4日(水)-6月17日(日) 常設展示室

